

〔延喜式大藏〕七月廿五日相撲節、神泉苑立幄十二宇、平張二條、幕一張、

〔類聚三代格十二〕太政官符

一禁制諸家并諸人祓除神宴之日、諸衛府舍人及放縱之輩、求酒食責被物事、

右同前起請儻略○中 諸衛府舍人并放縱之輩、不緣主招、好備賓位、侵幕爭入略○中 望請嚴仰所司、一

切禁遏者略○中

貞觀八年正月廿三日

〔宗長息女婚禮記錄〕息女小笠原宗長嫁武田晴信出給ふ時略○中 道具の順は二の門にて定候也略○中

道具興以下次第之事

一幕串一張分 二幕箱略○中

幕串を先に立候事、第一には八方天地の表相に依て、惡方を不用者也、四天を書籠、九字の印文をもつて加持するもの也、依之惡魔を降伏し、怨敵を退散して、陰陽和合の表相何ものか如之乎、故に幕串を行列の眞先に立る也、

○按ズルニ、婚禮ニ幕ヲ用キルコトハ、禮式部婚嫁篇ニ散見セリ、參看スベシ、

〔紫の一本花〕東叡山

東叡山黒門より仁王門までの並木の櫻の下に花見衆なし、東照宮の御宮の脇後松山のうち清水のうしろに幕はしらかして見る人おほし、幕のおほき時は三百餘あり、すくなき時は二百餘あり、此外に連立たる女房の上著の小袖、男の羽おりを辨當からげたる細引に通して、櫻の木に結びつけて、かりの幕にして、毛氈花むしろ敷きて酒のむ也、

〔天寶遺事〕下裙幄

長安士女遊春野歩過名花、則設席籍草、以紅裙遞相插、掛以爲宴幄、其奢逸如此也、